

駐日韓国大使 柳興洙氏 × 静岡県知事

かわかつ へいた 川勝平太



柳興洙氏  
駐日韓国大使

慶尚南道出身。幼少期を京都で過ごす。警察官僚を経て官選の忠清南道知事に。その後、国会議員に転身し計4期務めた。韓日議員連盟幹事長や韓日親善協会理事長などを歴任。2010年、旭日中綬章を受章。77歳。

静岡県と韓国には  
不思議な縁がありますね。

**知事** 朝鮮半島では660年に百済が唐・新羅の連合軍に降伏しました。日本は百済再興のため援軍を送りましたが、663年に白村江の戦いで敗退しました。その援軍の主力部隊が静岡出身者だったようです。

**大使**には、さきほど朝鮮通信使を  
歓迎した清見寺にもお立ち寄りいただき  
ました。1607年に朝鮮から派遣された  
正使の呂祐吉(ヨウギシ)が470人  
あまりを引き連れて立ち寄ったゆかりの  
地で、その後駿府で徳川家康公と  
会見しました。400年以上にわたる  
友好の歴史を見つづけてきた大切な所  
です。

**柳氏** 初めて清見寺を訪れ、少し恥  
づかしく感じました。自分は日本を  
わりと良く知っていると思ってい  
たし、さまざまなおもてなも  
でも清見寺には来たことがなかつ  
た。私としては本場に遅かったな  
と思いましたが、これほどの歴史の  
場所、歴史の現場なのに。

**知事** 会見の日、当時の朝鮮で使  
われていた暦で6月20日であつたこ  
とが分かつています。

**柳氏** 約400年になりますね。清  
見寺には、その後の朝鮮通信使の一  
員が揮毫(きこう)した瓊瑤(けいよう)が  
残っていました。「瓊」も「瑤」も玉の  
ことですから、一つは韓国、一つは日  
本という意味でしょう。

**知事** まさに、そういうことです。  
**柳氏** その玉が出会う世界、その二  
つの世界と言ふこともできるし、二  
つが世界を照らすという意味でも  
あると思います。400年前の時代  
に我々の先輩、祖先が、二つの国の重  
要性を考えながら、こういうことを  
書いて友好関係を作ろうとしてい  
た。それを思うと、今の日韓・韓日関  
係がちよつとこじれているのは、恥ず  
かしいものではないかな、と思いま  
した。

**知事** 豊臣秀吉は文禄・慶長の役  
(1592~1598年)で朝鮮半  
島を侵略しました。当時の朝鮮王国  
では、日本人とは同じ天を仰げない、  
というくらい反日感情が強かつた。  
一方、家康公は、戦国武将でし  
たが、若いころからよく勉強する人物  
で、朝鮮半島には渡らなかつた。  
**柳氏** そう。平和を大事にしたん  
が、私はききょう、朝鮮通信使が訪  
れた清見寺、平和を好んだ徳川家康  
がまつられている久能山東照宮を  
訪ねました。また、こんなに素晴らしい  
姿の富士山の靈気。何かいいこと  
ある予感がします。

**知事** 家康公は幕府を開いた後、  
ぐに將軍職を息子に譲つて静岡に  
来られた。暖かいから、食べるもの  
がいいから、何より靈峰を仰げる景  
色がいいから、ということ。晩年を  
ここで過ごされました。  
**柳氏** 私が韓国に帰つたら、静岡の  
大使になります。本場でですよ、これ  
(笑)

はるか昔から静岡発の外交が  
続いてきたわけですね。

**知事** 2年前に静岡県は忠清南道

# 日韓の縁 静岡から

静岡県と韓国は歴史的に深いつながりがある。江戸時代最初の朝鮮通信使を徳川家康が歓待し、日本と朝鮮の関係修復に道筋をつけた場所が今の静岡市だった。現在、富士山静岡空港からソウル便が飛び、静岡県と韓国・忠清南道(チュンチョンナムド)は2013年に友好協定も締結。日韓国交正常化50周年の節目の年に、川勝平太・静岡県知事と柳興洙(ユフンス)・駐日韓国大使が、国家間の関係にとらわれない地方主体の日韓交流について、富士山を臨む日本平ホテルで語り合った。

(この対談は、平成27年3月28日付毎日新聞朝刊に掲載された記事・写真の転載です。)

通信使が行き来した時代は、平和  
そのものでした。韓国と日本の関係  
を2000年と考えると、文禄・慶  
長の役の6年と、最近の35年間の日  
本による支配、それが歴史に残る不  
幸な時期で、それ以外はいい関係  
だったのではないのでしょうか。

だから、あの徳川家康の平和に對  
する考え方を学ぶべきでしょう。朝  
鮮通信使という交流の形から、今で  
も私たちは学ぶべきじゃないかと本  
当に考えております。

**知事** 朝鮮の人々が文禄・慶長の役  
で受けたいやしがたい恨みを克服し  
ようという勇気と寛容の精神。これ  
は両国民にとって極めて大切だと思  
います。清見寺はそれを思い出させ  
る所であり、大使には何とでも  
お越し頂きたいと思っていました。

清見寺

静岡市清水区にある臨濟宗妙心寺派の寺院。江戸時代、朝鮮通信使が宿泊したり休憩したりした。寺では彼らが詠んだ漢詩を板に刻み、当時から拝観者に展示。住職と通信使の筆談録なども残る。1643年に揮毫(きこう)された「瓊瑤(けいよう)世界」の扁額(へんがく)は、鐘樓(現在修理中)に掲げられた。寺には琉球の使節も立ち寄った。

